

☒ 身近な物価上昇から考える お金の価値

コーヒーや食パンなど、身近な食品の値上がりが続いています。物価が上昇すると、同じ金額のお金で購入できる商品やサービスは少なくなり、お金の実質的な価値は低下していきます。身近な物価の動きや各種データを確認しながら、資産を守るための考え方についてみてみましょう。

● 身近な食品の価格の変化

項目	①2000年	②2020年	①～②変化率 (年率換算)	③2025年	②～③変化率 (年率換算)
砂糖 (上白糖、袋入り、1kg) 	184円	161円	-0.7%	232円	7.6%
食パン (1kg) 	432円	307円	-1.7%	501円	10.3%
バター (箱入り200g) 1箱 	295円	431円	1.9%	562円	5.5%
中華そば (外食、ラーメン、しょう油味、1杯) 	531円	567円	0.3%	750円	5.8%
コーヒー (外食、喫茶店、コーヒー1杯) 	396円	389円	-0.1%	462円	3.5%
カレーうどん (固形、12皿分、1箱) 	220円	211円	-0.2%	299円	7.2%

幅広い食品が
値上がりしているなあ...



(出所)総務省 統計局「小売物価統計調査(動向編)」の長野市における各年平均値より、八十二証券作成

! インフレとお金の実質的な価値の関係

左下のグラフは、日本の消費者物価指数(前年同月比)の推移です。2022年6月以降の4年間にける総合指数の平均上昇率は2.9%となっており、右下の表は、この水準の物価上昇が今後も続いた場合の資産価値の変化を試算したものです。

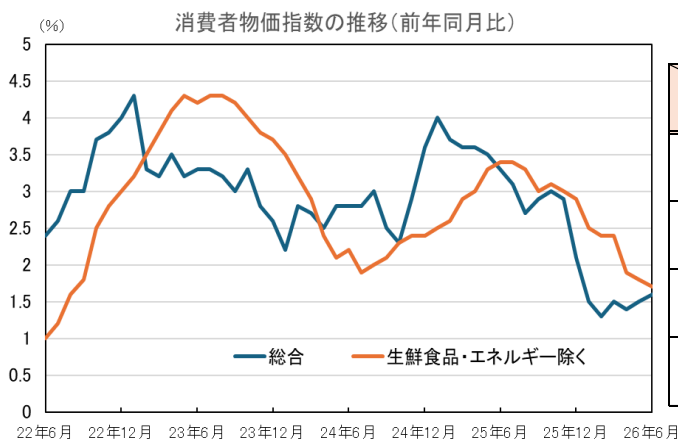
例えば、手元にある100万円を運用せずにそのまま保有し続けた場合、年率3%のインフレのもとでは、10年後には約74万円、20年後には約55万円相当の購買力となります。

物価上昇が続く環境では、現金の金額は変わらなくても、そのお金で購入できる商品やサービスが少なくなります。資産の実質的な価値を維持するためには、インフレ率を上回る利回りでの運用を検討することが重要です。

物価上昇が続いた場合の資産価値の変化

(年率3%のインフレが継続した場合のシミュレーション)

経過年数	5年後	10年後	15年後	20年後
現在の金額				
100万円	約86万円	約74万円	約64万円	約55万円
1,000万円	約863万円	約744万円	約642万円	約554万円
5,000万円	約4,313万円	約3,720万円	約3,209万円	約2,768万円
1億円	約8,626万円	約7,441万円	約6,419万円	約5,537万円



(出所)e-AURORA Beacon取得データを基に八十二証券作成

【免責事項】

○本資料は、公表された資料に基づき作成されたものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ○本資料は、お客様への情報提供を目的としたものであり、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料をお客様ご自身のためのみ、お客様限りでご利用ください。なお、当社の事前の承諾を得ることなく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。
 ○本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、当社は、理由の如何を問わず責任を負いません。

広告審査済